

平成24年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 **一関市**

【普通会計の状況】

〔表1〕 財政力・歳入構造の自立度・安定度（⇒財政的な基礎体力はどうなっているか）

（単位：百万円、％）

項 目		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	県 平均 (H23)	H23年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H17比)
標準財政規模（臨財債含む）		39,559	40,381	40,192	40,414	41,051	42,489	41,801			2,242 ↑
財政力指数		0.36	0.37	0.38	0.39	0.38	0.36	0.36	0.32	13	0.00 ↓
自主財源比率		32.6	28.6	29.7	30.2	25.5	27.4	27.0	28.2	16	▲ 5.6 ↓
地 方 税	地方税額	11,549	11,560	12,742	12,764	12,027	11,818	11,762			213 ↑
	地方税の歳入割合	18.2	19.0	19.8	20.4	17.2	17.0	16.7	20.9	13	▲ 1.5 ↓
	市町村税の徴収率	92.0	91.4	91.7	91.9	91.6	91.5	91.7	92.0	18	-0.3 ↓
	国保税の徴収率	79.0	78.4	78.2	74.2	74.1	72.2	72.3	69.1	22	-6.7 ↓
交 付 税	地方交付税額（臨財債含む）	25,865	26,364	24,357	26,410	27,574	30,219	30,374			4,509 ↑
	交付税依存度	40.7	43.4	37.9	42.1	39.3	43.5	43.1	45.9	10	2.4 ↓

※復旧・復興分を除く。地方交付税は震災復興特別交付税を除く。

〔表2〕 収支と基金残高（⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		2.0	5.2	6.6	3.9	5.8	3.1	7.7	7.9	11	5.7 ↑
実質単年度収支比率		5.5	2.0	2.0	▲ 1.5	4.2	1.7	4.4	7.2	19	▲ 1.1 ↓
基 金	基金現在高	7,038	7,457	7,517	8,071	9,579	13,033	13,903			6,865 ↑
	うち財政調整基金	5,151	4,767	4,542	4,641	5,142	6,428	6,369			1,218 ↑
	うち減債基金	1,486	2,295	2,578	2,504	3,035	4,432	4,824			3,338 ↑
	基金残高倍率	17.8	18.5	18.7	20.0	23.3	30.7	33.3	46.9	24	15.5 ↑
連結実質赤字比率					-	0.00	0.00	0.00		-	
一借限度額（普通会計）		11,700	6,000	9,000	9,000	8,500	8,500	8,000			▲ 3,700 ↑
一借限度額倍率		29.6	14.9	22.4	22.3	20.7	20.0	19.1	22.1	18	▲ 10.5 ↑

※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。（以下の比率において同じ。）

〔表3〕 歳出規模の適正度（⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

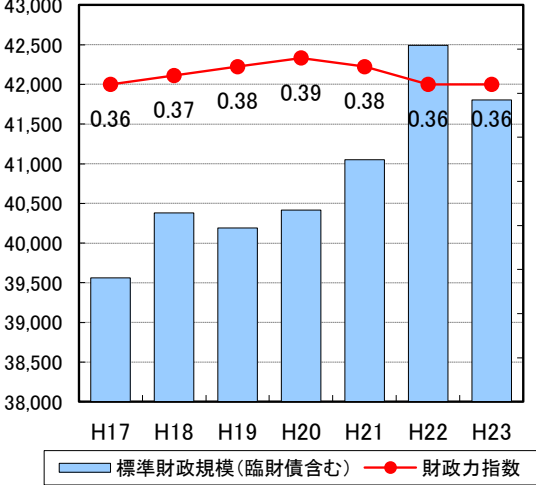
歳出決算額	62,616	58,505	61,529	60,678	66,264	65,843	66,202			3,586 ↑
歳出決算倍率	158.3	144.9	153.1	150.1	161.4	155.0	158.4	162.3	13	0.1 ↓

※復旧・復興分等を除く。

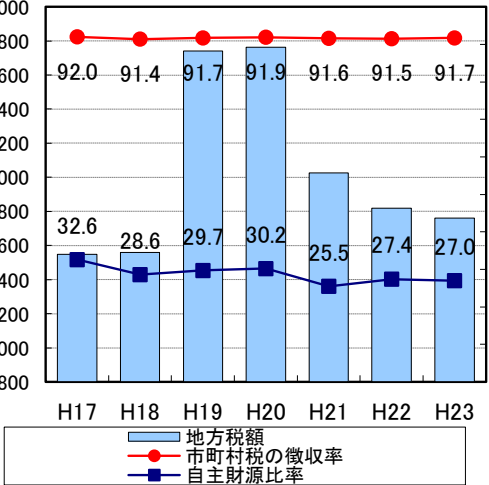
〔表4〕 財政構造の弾力性（⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		91.2	90.4	90.8	89.1	87.9	84.8	86.8	86.5	21	▲ 4.4 ↑
性 質 別 内 訳	人件費の比率	26.0	29.3	28.1	27.1	26.6	25.0	25.3	23.9	22	▲ 0.7 ↑
	物件費の比率	10.6	9.6	9.2	9.6	9.8	9.5	10.7	12.0	10	0.1 ↓
	維持補修費の比率	2.2	1.4	1.1	1.3	1.3	1.2	1.2	1.5	14	▲ 1.0 ↑
	扶助費の比率	6.0	5.8	5.7	5.6	5.5	6.7	6.3	6.0	18	0.3 ↓
	補助費等の比率	13.2	14.2	14.4	13.5	13.6	12.7	13.4	12.5	22	0.2 ↓
	公債費の比率	24.3	23.9	24.3	23.7	23.1	22.3	21.6	20.6	19	▲ 2.7 ↑
繰出金の比率		8.7	6.1	7.9	8.2	7.9	7.2	8.2	10.0	8	▲ 0.5 ↑
経常収支比率（公債費除き）		66.9	66.5	66.5	65.4	64.8	62.5	65.3	65.9	18	▲ 1.6 ↑

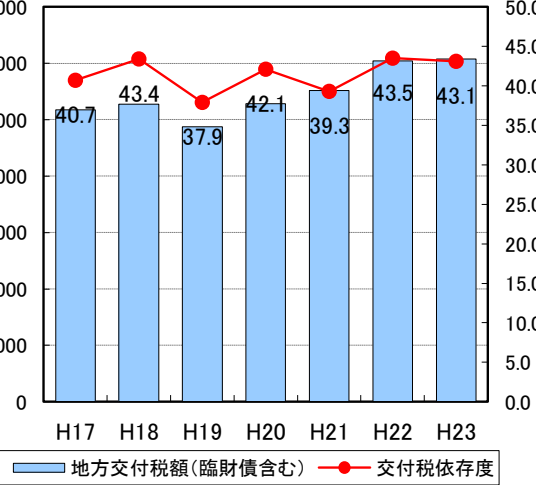
〔図1-1〕標準財政規模と財政力指数



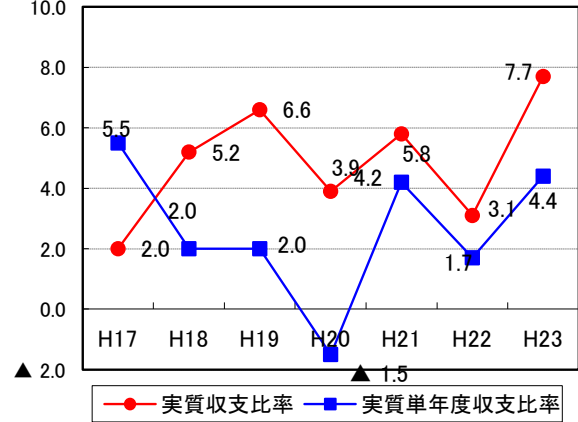
〔図1-2〕地方税額・徴収率と自主財源比率



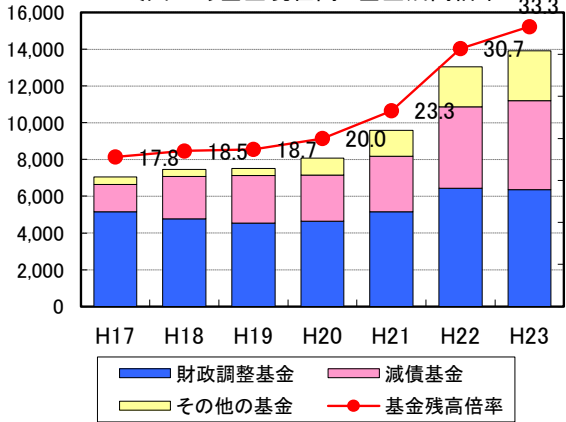
〔図1-3〕地方交付税額と交付税依存度



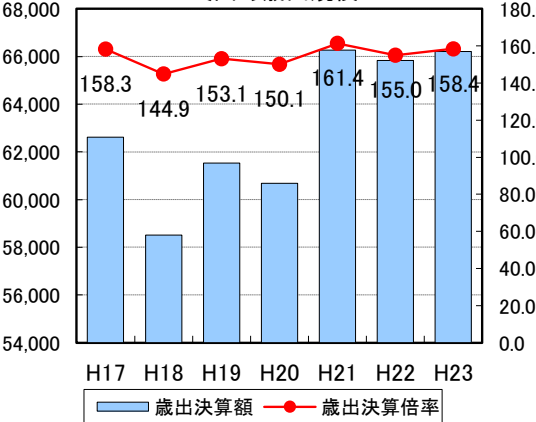
〔図2-1〕実質収支比率と実質単年度収支比率



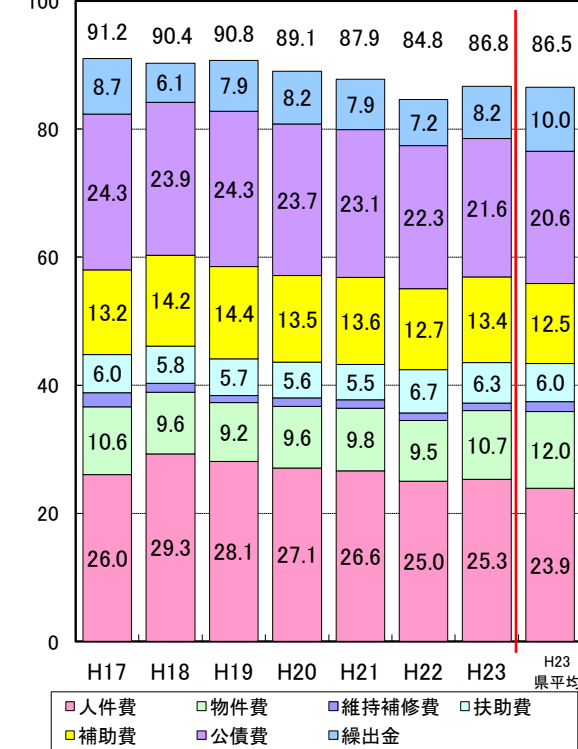
〔図2-2〕基金現在高と基金残高倍率



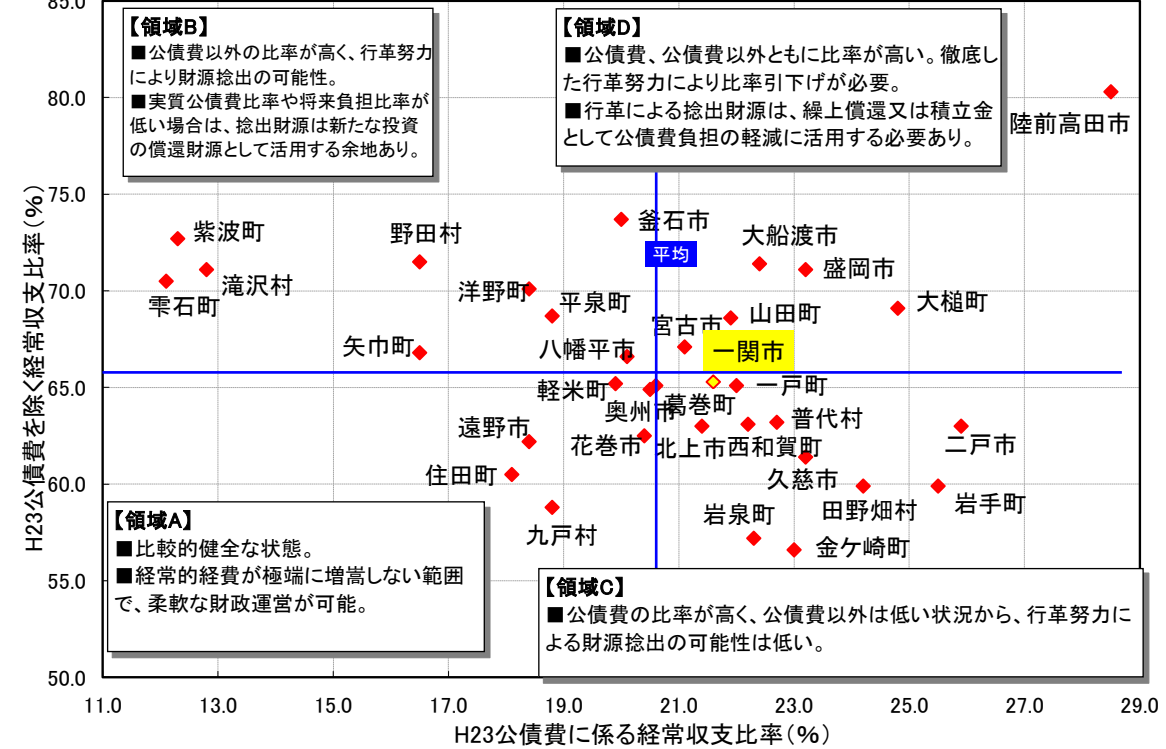
〔図3〕歳出規模



〔図4-1〕経常収支比率とその性質別内訳



〔図4-2〕H23経常収支比率の状況



市町村名 **一関市**

〔表5〕人件費と公債費の適正度（⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうか）（単位：百万円、％）

項 目		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	県 平均 (H23)	H23年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H17比)
職員数 と 人件 費	職員数	1,755	1,694	1,628	1,576	1,554	1,507	1,471			▲ 284 ↑
	うち普通会計関係	1,502	1,454	1,388	1,344	1,329	1,280	1,250			▲ 252 ↑
	うち企業会計等会計	253	240	240	232	225	227	221			▲ 32 ↑
	人口千人当たり職員数	12.9	12.6	12.2	12.0	11.9	11.7	11.5	9.8	16	▲ 1.4 ↓
	ラスパイレス指数(給与水準)	94.6	94.8	95.0	95.1	95.4	94.8	94.8	94.2	20	0.8 ↓
公債 費	公債費負担比率	19.6	20.9	22.5	21.5	19.9	19.1	19.0	15.1	25	▲ 0.6 ↑
	実質公債費比率(3カ年平均)		17.2	17.2	17.2	17.6	16.8	15.9	13.4	28	▲ 1.3 ↑

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕投資的経費の状況（⇒社会資本整備のための投資的経費の状況(歳出決算シェア)はどうか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	17.8	14.4	17.8	16.4	16.7	17.4	21.3	14.8	9	3.5	↑
うち単独事業	12.4	9.7	8.9	9.4	9.8	11.5	11.6	7.4	5	▲ 0.8	↓

※復旧・復興分等を除く。

〔表7〕プライマリーバランスと地方債残高の状況（⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、結果として地方債残高はどうか）

元金償還額(臨財債を含む)	8,118	8,222	8,991	8,787	8,838	8,753	8,229			111	↓
地方債発行額(臨財債を含む)	6,318	5,016	6,504	5,758	7,533	8,589	8,401			2,083	↓
地方債残高(臨財債を含む)	89,285	85,565	83,078	80,049	78,743	78,579	78,751			▲ 10,534	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	77.8	61.0	72.3	65.5	85.2	98.1	102.1	86.4	24	24.3	↓
地方債現在高倍率	225.7	211.9	206.7	198.1	191.8	184.9	188.4	189.2	19	▲ 37.3	↑

〔表8〕将来の財政負担の状況（⇒将来的な財政負担の状況(ストック)はどうか。）

①地方債残高	89,285	85,565	83,078	80,049	78,743	78,579	78,751			▲ 10,534	↑
②債務負担行為支出予定額	16,061	14,914	12,550	9,658	8,605	7,815	6,924			▲ 9,137	↑
③基金現在高	7,038	7,457	7,517	8,071	9,579	13,033	13,903			6,865	↑
将来財政負担額(①+②-③)	98,308	93,021	88,110	81,636	77,769	73,362	71,772			▲ 26,536	↑
将来財政負担比率	248.5	230.4	219.2	202.0	189.4	172.7	171.7	132.1	24	▲ 76.8	↑
将来負担比率				167.6	151.6	143.0	140.3	76.2	29		

【国保等事業会計の状況】 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

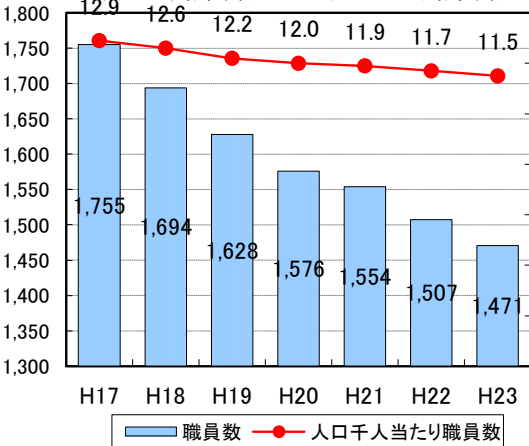
〔表9〕収支の状況

全会計の実質収支合計額		505	399	3	204	726	446	195			▲ 310	↑
上記の標財規模に対する割合		1.3	1.0	0.0	0.5	1.8	1.0	0.5	▲ 0.3	22	▲ 0.8	↑
実質収 支の内 訳	国保(事業勘定)	329	44	169	201	718	439	199			▲ 130	↓
	国保(直診勘定)	12	4	2	1	1	2	0			▲ 12	↓
	老人保健・後期高齢者	35	1	1	7	2	3	0			▲ 35	↓
	介護保険	128	349	0	0	0	0	0			▲ 128	↓
	介護サービス	1	0	▲ 2	▲ 5	4	2	▲ 4			▲ 5	↓

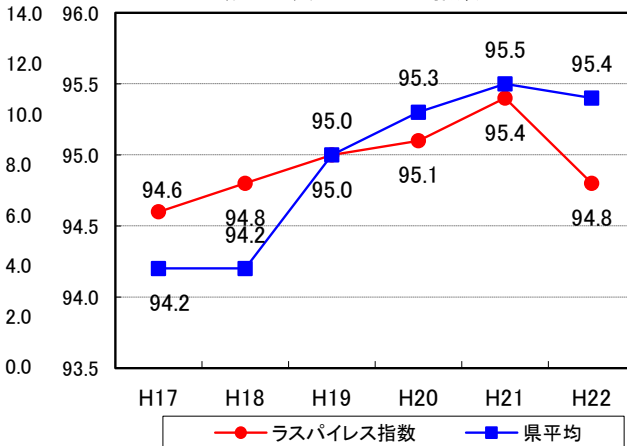
〔表10〕一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額		2,488	2,433	1,981	1,472	1,378	1,432	1,352			▲ 1,136	↑
上記の標財規模に対する割合		6.3	6.0	4.9	3.6	3.4	3.4	3.2	6.8	2	▲ 3.1	↑
繰入 金の 内 訳	国保(事業勘定)	822	884	969	837	863	893	853			31	↓
	国保(直診勘定)	131	84	178	197	160	170	128			▲ 3	↑
	老人保健・後期高齢者	984	923	1,047	426	347	356	355			▲ 629	↑
	介護保険	529	530	0	0	0	0	0			▲ 529	↑
	介護サービス	21	12	9	12	8	13	16			▲ 5	↑

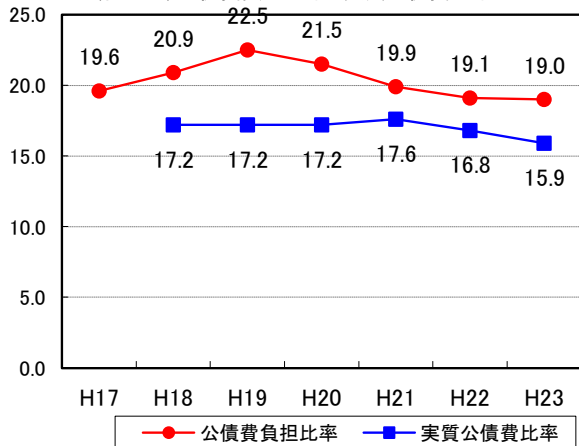
〔図5-1〕職員数と人口千人当たり職員数



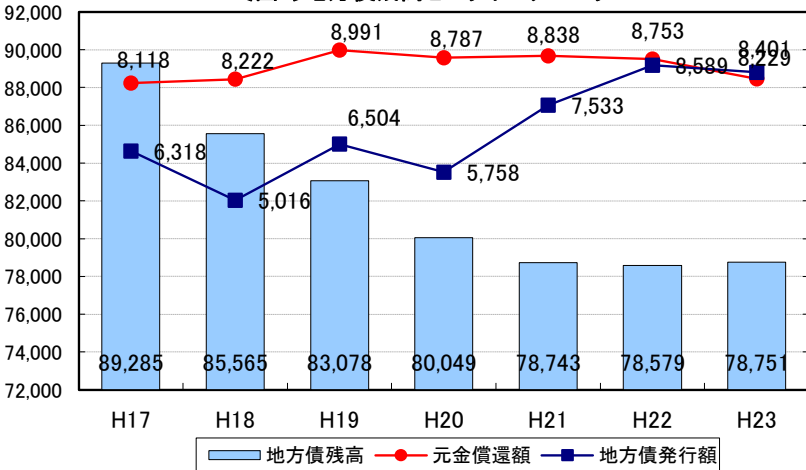
〔図5-2〕ラスパイレス指数



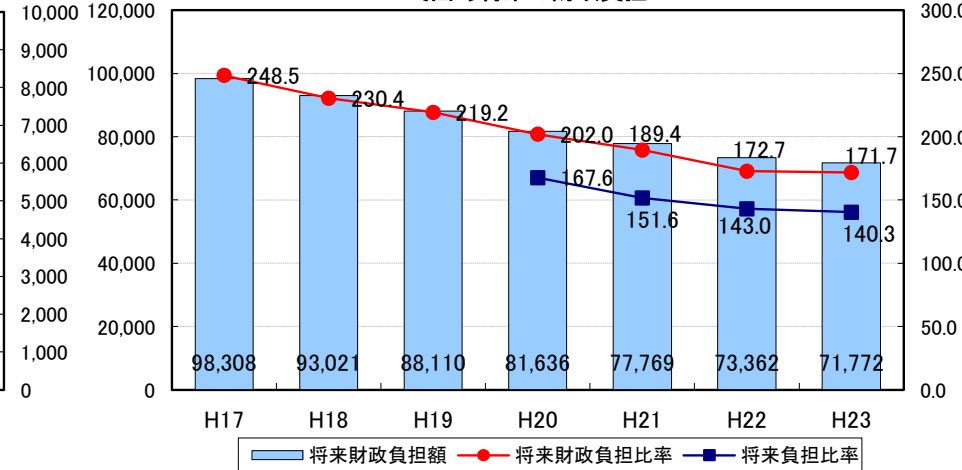
〔図5-3〕公債費負担比率と実質公債費比率



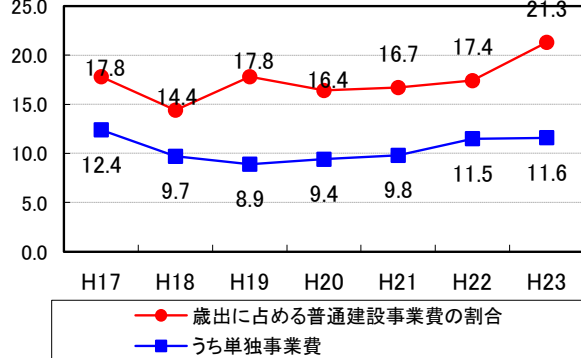
〔図7〕地方債残高とプライマリーバランス



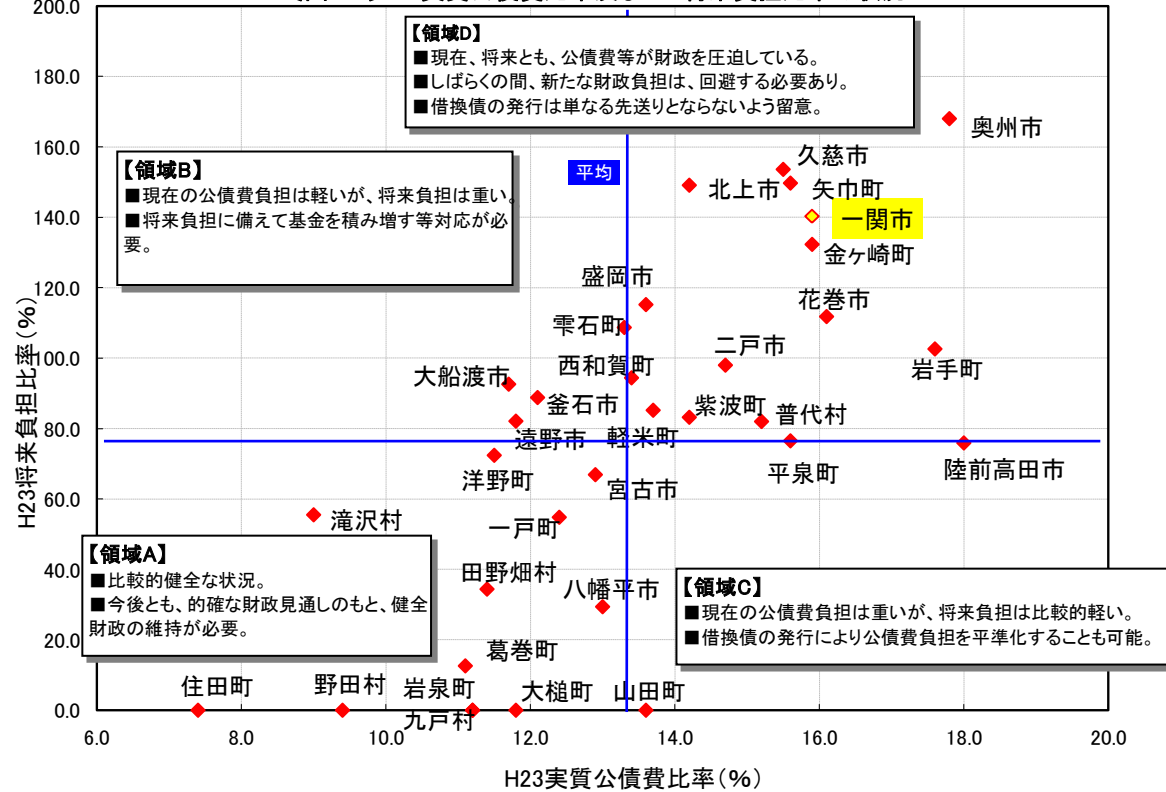
〔図8〕将来の財政負担



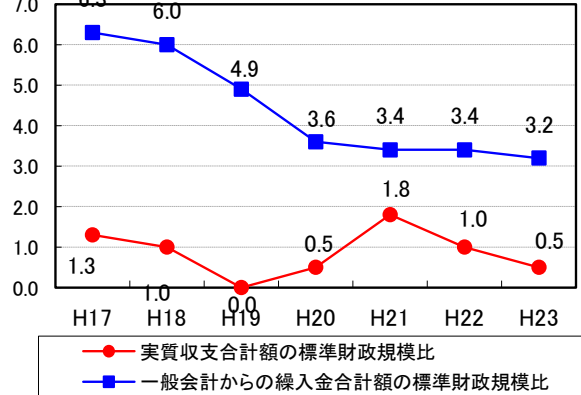
〔図6〕普通建設事業費の状況



〔図5・8〕H23実質公債費比率及びH23将来負担比率の状況



〔図9・10〕事業会計の実質収支と繰入金



【公営企業の状況】

【表11】収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

(単位:百万円、%)

項 目		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	県 平均 (H23)	H23年度の状況 順位	改善又は悪化の 傾向(H17比)
全会計の収支合計額		176	96	92	299	357	343	211			35 ↑
上記の標財規模に対する割合		0.4	0.2	0.2	0.7	0.9	0.8	0.5	0.4	17	0.1 ↑
法 適 用 企	上水道	95	92	219	210	209	279	166			71 ↑
	藤沢工業用水道	6	6	4	2	4	1	8			2 ↑
	藤沢病院	10	▲ 17	13	13	63	4	5			▲ 5 ↓
	藤沢介護サービス	153	53	66	48	55	40	23			▲ 130 ↓
法 非 適 用 企 業	簡易水道	0	0	0	1	0	0	0			0 ↓
	宅地造成(その他造成)	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	駐車場					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(指定介護老人福祉施設)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(老人短期入所施設)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(老人デイサービスセンター)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	公共下水道	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	特定環境下水道		0	0	0	0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	農業集落排水	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	特定地域生活排水	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
	個別排水処理					0	0	0			#VALUE! #VALUE!

【表12】資金不足の状況

資金不足比率					-	-	-	-		-		
					-	-	-	-				
					-	-	-	-				

【表13】一般会計等からの繰入金の状況

全会計の繰入金合計額		1923	1996	2015	3289	2885	2392	2741			818 ↓
上記の標財規模に対する割合		4.9	4.9	5.0	8.1	7.0	5.6	6.6	8.1	12	1.7 ↓
うち基準外繰入金合計額		960	1438	1240	1464	757	396	384			▲ 576 ↑
法 適 用 企	上水道	28	64	48	56	66	42	42			14 ↓
	藤沢工業用水道	0	0	0	0	2	0	0			0 ↓
	藤沢病院	9	0	0	0	0	0	0			▲ 9 ↑
	藤沢介護サービス	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓
法 非 適 用 企 業	簡易水道	312	71	53	76	45	4	4			▲ 308 ↑
	宅地造成(その他造成)	5	5	34	90	1	0	2			▲ 3 ↑
	駐車場					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(指定介護老人福祉施設)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(老人短期入所施設)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	介護サービス(老人デイサービスセンター)					0	0	0			#VALUE! #VALUE!
	公共下水道	880	500	341	928	485	234	171			▲ 709 ↑
	特定環境下水道		380	100	166	62	26	52			#VALUE! #VALUE!
	農業集落排水	200	211	113	125	59	62	105			▲ 95 ↑
	特定地域生活排水	13	9	1	11	0	0	8			▲ 5 ↑
	個別排水処理					0	0	0			#VALUE! #VALUE!

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 【表14】一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	4,074	4,361	3,817	3,634	3,625	3,610	3,982			▲ 92 ↑
貸付金計	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓

※「貸付金計」にはH22年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

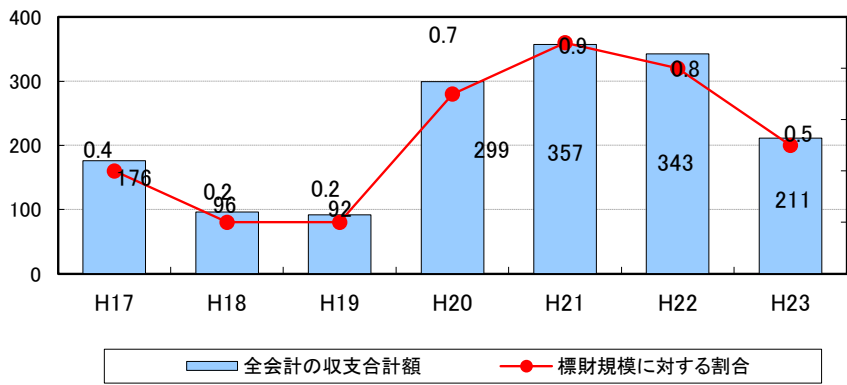
【土地開発公社への財政支援等の状況】 【表15】土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	0	0	2	2	2	1	1			1 ↓
貸付金	71	71	0	0	0	0	0			▲ 71 ↑
債務保証残高	21	21	143	24	0	0	0			▲ 21 ↑

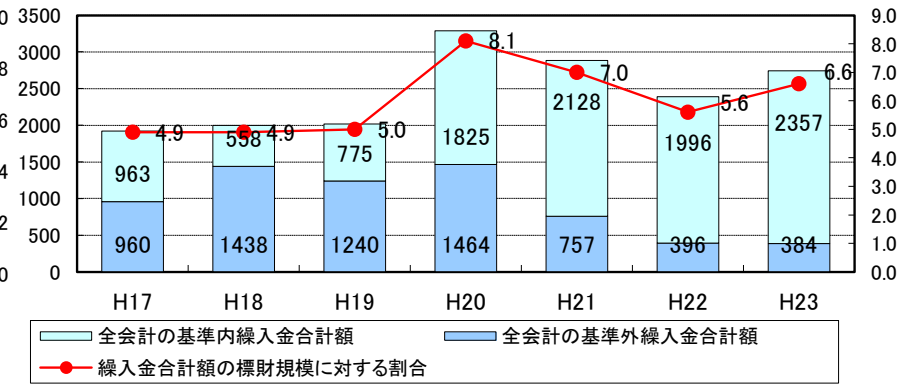
【第三セクターへの財政支援の状況】 【表16】第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	8	8	19	38	14	46	37			29 ↓
貸付金	0	0	8	0	0	0	0			0 ↓
損失補償残高	0	0	0	0	0	0	0			0 ↓

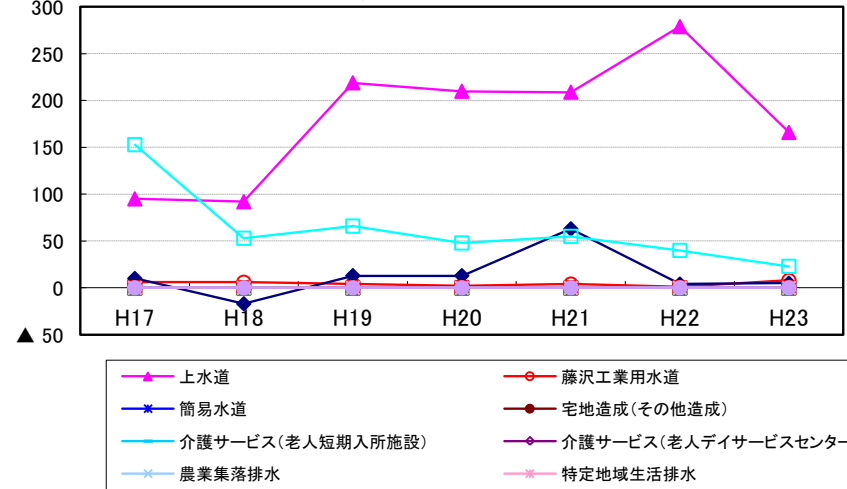
【図11-1】公営企業の収支の状況



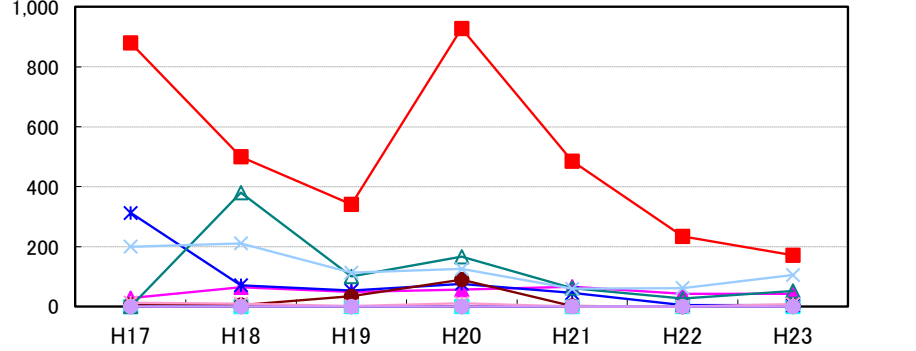
【図13-1】公営企業の繰入金の状況



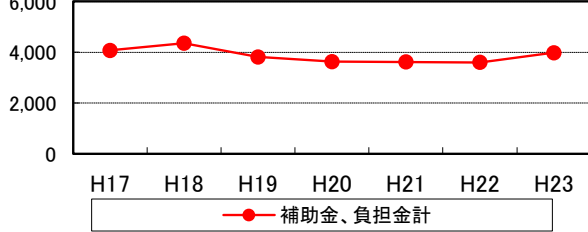
【図11-2】公営企業の収支の状況(会計別)



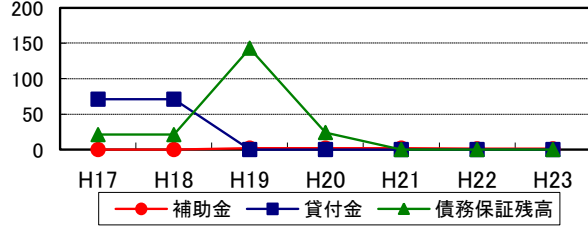
【図13-2】公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



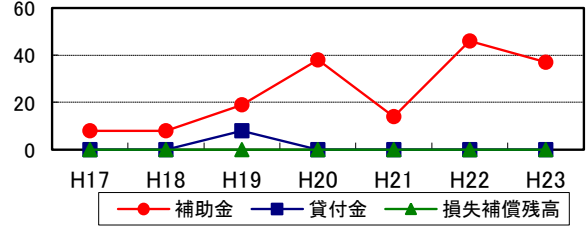
【図14】一部事務組合への財政支援の状況



【図15】土地開発公社への財政支援の状況



【図16】第三セクターへの財政支援の状況



【図13-3】H23企業債残高とH23公営企業の繰入金の状況

